

蚊のボウフラ捕獲・駆除器 **特許取得**

蚊とりん

Mosquito larvae extermination machine



メスの蚊が卵を生む **産卵槽**

成虫となっても安心の **死滅槽**

水が減った場合でも
フロート弁で戻れない **成育槽**

必要なのは
雨水だけ



✓ 殺虫剤などの薬剤を一切使わず**安全!**

✓ 繰り返し何年も使えて**経済的!**

✓ 管理がしやすく**便利!**

✓ 市区町村や公共施設で導入の**信頼!**

〈ご注文は下記ホームページにて承ります〉

エコデア  ECO-DEA

蚊とりん

検索

<http://eco-dea.la.cocan.jp/katorin/>

〒942-0081 新潟県上越市五智 3-18-16

※お問い合わせもホームページ内のメールフォームからお願いいたします。

ヤブ蚊のボウフラを捕獲・駆除

最も身近にいて繁殖力が旺盛なヒトスジシマカ(ヤブ蚊)は、デング熱やジカ熱などの感染症を媒介する能力を持ち、メスの蚊1匹あたり50~100個を産卵します。

毎春に越冬卵が孵化し、水たまりのできやすい6~7月(梅雨の期間)に大量繁殖してから晩秋までに約50日サイクルで世代交代を繰り返します。

成虫は蚊取り線香や殺虫スプレーなどで退治するしかありませんが、幼虫(ボウフラ)1匹を駆除することは将来の数百~数千匹を駆除するに等しく、また、ボウフラは水場にまとまって生息するため、その段階で一斉駆除することがより効率的です。

「蚊とりん」は容器内に産卵させ、ボウフラの段階で駆除することで個体数の減少を目的として開発されたボウフラ捕獲・駆除器です。



「蚊とりん」の捕獲システム

- ① メスの蚊が産卵槽の水ぎわに卵を産み付ける
- ② 数日後に卵が孵化してボウフラになる
- ③ ボウフラは通路口を通過して成育槽に落ちる
- ④ 段階的に成長し、やがて羽化して成虫になる
- ⑤ 成虫は出口を求めて死滅槽に移るが、出られない
- ⑥ 3~4日後に死滅し、その死骸が蓄積される
- ⑦ 容器の外から捕獲・駆除状況を確認できる



③



⑥

● 通常は卵から約2週間程度で成虫となりますが、水温やエサなどの条件が揃えばさらに成長が早まります。

● 容器内の水位が低下した状態において羽化した成虫は、死滅槽には移らず成育槽に数日間留まる場合があります。

● 自然蒸発によって水位が低下した場合には、フロート弁が降下して通路口が自動閉鎖され、成虫は逃げられません。【特許取得】

● 雨水が無い場合は、水道水を沸騰し塩素を抜いて冷ました水をご利用ください。

● 蚊の死骸を好む虫(アリ等)が死滅槽に入り、死骸を食べる場合があります。

● 生きた成虫が容器内で確認できる場合は、黒い部分の開閉は絶対にしないでください。